




大学側で録画・記録し、
広報等で利用する
場合があります


録画・録音・
スクリーンショットは
お控えください


報告会終了後の
アンケートに
ご協力お願いします



2023年度 いちだい地域共創プロジェクト 市大生チャレンジ事業合同活動報告会

日時・場所

2024年3月1日（金）13：00～15：30

会場：広島市立大学講義棟6階 大講義室603
オンライン：ZOOM

オンライン参加の方はコチラ▼

<https://us02web.zoom.us/j/82947009204>

ミーティングID: 829 4700 9204

パスコード: 560755

発表内容

2023年度いちだい地域共創プロジェクト活動報告（7テーマ）
2023年度市大生チャレンジ事業活動報告（4テーマ）

アンケート

アンケートへのご協力をお願いします

▶ <https://forms.office.com/r/DE931t4WL2>

回答期限：2024年3月5日（火）17時まで

アンケートは
コチラ▼



《第1部》いちだい地域共創プロジェクト活動報告（各テーマ発表7分、質疑応答3分）

13:00 開会挨拶

	活動テーマ	課題提案地域団体	代表教員
13:10	カープ・ミュージアム設立プロジェクト	カープ・ミュージアム 設立プロジェクト	国際学部 教授 吉田 晴彦
13:20	広島湾岸トレイル構想事業 山歩きの魅力と効能の考察とPRツールの制作	広島湾岸トレイル協議会	芸術学部 准教授 藤江 竜太郎
13:30	熊野町つなぐプロジェクト	熊野町つなぐプロジェクト	社会連携センター 特任講師 三上 賢治
13:40	竹原市の観光資源である「大久野島」の地域連携 活性化事業	TAKEHARAフロティア プロジェクトチーム	情報科学研究科 准教授 島 和之
13:50	だんばらのえんこうさん	段原おやじの会	芸術学部 講師 城井 文
14:00	コロナ禍でも健康体操で交流したい。もっと。	比治山学区社会福祉協議会	情報科学研究科 准教授 岩根 典之
14:10	アーティストのために整備した「AIR Hiroshima Studio」と「AIR Hiroshima Gallery」の活用による 地域の文化・芸術の振興への寄与	横川エリアマネジメント 連絡協議会	国際学部 准教授 石谷 治寛

---休憩---

《第2部》市大生チャレンジ事業活動報告（各テーマ発表7分、質疑応答3分）

	活動テーマ	学生代表	アドバイザー
14:30	みんなのバス	芸術学研究科 博士前期1年 ジョン・テヨン	芸術学部 教授 吉田 幸弘 准教授 中村 圭
14:40	大崎上島・豊島の方々と地元の素材で草木染め体験	芸術学部2年 川口 春	芸術学部 講師 今野 健太
14:50	地域活性化のための情報格差をなくす掲示板アプリ ケーションの開発	情報科学研究科 博士前期1年 山崎 陽介	情報科学研究科 教授 弘中 哲夫
15:00	耳の不自由な人や外国の人向けの紙芝居字幕システム	情報科学部4年 リュウ・シャン	情報科学研究科 助教 森 康真

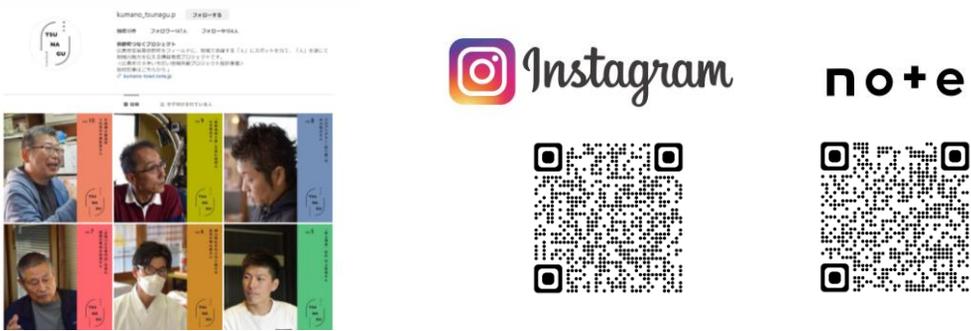
15:10 理事長・学長からの表彰状授与と講評
15:20 まとめ（次年度申請の説明等）

2023年度いちだい地域共創プロジェクト

1	カープ・ミュージアム設立プロジェクト	
	課題提案地域団体	カープ・ミュージアム設立プロジェクト
	代表教員	国際学部 教授 吉田 晴彦
活動目的	<p>原爆からの復興の象徴となった広島東洋カープ草創期の歴史を後世に語り継ぐことのできる本学学生を、カープかたりべの会と協力しながら育成していく。</p> <p>活動を通じ、広島のもう一つの平和のシンボル・カープにまつわる歴史を学びながら、既に広島市が所有する球団草創期の貴重な資料を活用し、さらには地域の更なる活性化につながるミュージアム建設を中期的な目標とする。市民の機運を盛り上げるための企画を運営・実施しながら、ミュージアム建設の可能性を検討していく。そのために、各学部生の強みを生かした創意工夫、グループ内・グループ外のコミュニケーション能力の向上、企画立案能力の育成を目指す。</p>	
活動写真		

2	広島湾岸トレイル構想事業 山歩きの魅力と効能の考察とPRツールの制作	
	課題提案地域団体	広島湾岸トレイル協議会
	代表教員	芸術学部 准教授 藤江 竜太郎
活動目的	<p>広島湾岸の山.川.街.海.島を越えて、瀬戸内の絶景を友に歩く山旅！世界でも類を見ない都市隣接周回型の広島湾岸トレイルは、4市5町にまたがる陸路291.9km！市民が立ち上げ開発し、市民が維持管理・運営を行っているが、広島湾岸トレイル協議会の所属団体の多くは、比較的高齢の方が担っており、整備や運営の継続性が懸念されている。</p> <p>このたび、本学学生が関わり、広島湾岸トレイルを体験し、若者目線で発見した魅力をPRツールで表現することにより、若者やファミリー層に活用され、ひいては山道の整備やイベントの運営等にも興味を持ってくれる人が増加することを目指す。</p>	
活動写真		

2023年度いちだい地域共創プロジェクト

3	熊野町つなぐプロジェクト	
	課題提案地域団体	熊野町つなぐプロジェクト
	代表教員	社会連携センター 特任講師 三上 賢治
活動目的	<p>広島県安芸郡熊野町には豊かな自然環境やアウトドアなどの多目的施設が豊富にあるが、町民の認知度が低く、利用もほとんどない。また、熊野町へ移住した住民の多くが、熊野の自然環境を気に入り移住を決めた重要な要素の1つに上げており、地域住民からも、アウトドア用品を揃える負担や準備などやり方がわからないものの「やってみたい」という意見が多くある。こうした地域からの意見を踏まえ、熊野町の自然環境・アクティビティ施設を、さらに多くの人に楽しんでもらい、地域の「人と人」や「人と場」がつながる環境づくりを行う上で、まずは熊野町に点在する自然やアクティビティ資源の見える化・発信を今年度の目的とする。</p>	
活動写真		

4	竹原市の観光資源である「大久野島」の地域連携活性化事業	
	課題提案地域団体	TAKEHARAフロティアプロジェクトチーム
	代表教員	情報科学研究科 准教授 島 和之
活動目的	<p>竹原市の「大久野島」では、コロナ禍前には多くの観光客が訪れ、うさぎをはじめとした「大久野島」の環境を楽しみながら、有意義な時間を過ごされてきた。しかし、コロナ禍により観光客が減少し、市としても大きなダメージを受けてきた。その反面、人の往来が少なくなり、島の環境が改善した。また、うさぎの健康状態が改善したという、良い面もみられてきた。</p> <p>そこで、大久野島のうさぎや海ほたるなどの自然環境や毒ガス工場の歴史を伝える映像を作成し、環境保護や平和について考える。</p>	
活動写真		

5	だんばらのえんこうさん	
	課題提案地域団体	段原おやじの会
	代表教員	芸術学部 講師 城井 文
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発が落ち着いてから数十年が経過し、過去の状況を知らない住民が増えているため、住民が楽しく暮らし、移り住む人とも交流できるようにするには、自分の町に愛着が必要だと思う。 ・地域への愛着を醸成するための手段として、段原本を制作したが、第二弾は絵本にし、猿猴川の河童をモチーフにしたあらすじがあるので、それを題材として絵を描き、過去の写真や解説を挿入するなどを構想している。 ・地域住民と若い学生が、まちづくりと本づくりを考える中で交流し、お互いの知識やアイデアを交換したい。 	
活動写真	 	

6	コロナ禍でも健康体操で交流したい。もっと。	
	課題提案地域団体	比治山学区社会福祉協議会
	代表教員	情報科学研究科 准教授 岩根 典之
活動目的	<p>コロナ禍など、対面活動が制限される事態になったとしても、健康維持のための活動（百歳体操、交流など）を止めることなく持続できる環境の在り方を模索する。そして試行錯誤しながら、心理面と身体面から健康の維持促進を可能にするよう対面からオンラインまでカバーする楽しいハイブリッド環境の展開普及を目指す。</p> <p>また、見守りなどのため、このプロジェクトをきっかけとしてスマートフォンを活用できる高齢者を増やす。</p>	
活動写真	 	

2023年度いちだい地域共創プロジェクト

7	アーティストのために整備した「AIR Hiroshima Studio」と「AIR Hiroshima Gallery」の活用による地域の文化・芸術の振興への寄与	
	課題提案地域団体	横川エリアマネジメント連絡協議会
	代表教員	国際学部 准教授 石谷 治寛
活動目的	<p>横川エリアマネジメント連絡協議会は2020年に4つの市営店舗を借り受け、そのうち2つの場所を改装し、「AIR Hiroshima Studio」と「AIR Hiroshima Gallery」の2つの空間を整備した。場所の管理は横川エリアマネジメント連絡協議会が行うが、運用方法や企画は横川創作者会議（横川創荘も含めた、横川で活動する創作者による集まり）を母体に、地域での活動について開かれた話し合いの場を持つように努めながら、AIR Hiroshima GalleryおよびStudioの使用管理を含めた運用を社会実験する。スペースの積極的活用を目指し、地域で活動する創作者や市民から指導を受けながら、文化・芸術の振興が可能な場所として国際的に周知していくことを目指す。</p>	
活動写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> <p style="font-size: 8px;">講師 ねむろのこ ねむろのこ 代表</p> <p style="font-size: 8px;">【このワークショップ】 「ねむろのこ」は、広島県広島市に拠点を置く、地域に根ざしたアートプロジェクトを推進するNPO法人です。地域に根ざしたアートプロジェクトを推進するNPO法人です。地域に根ざしたアートプロジェクトを推進するNPO法人です。</p> <p style="font-size: 10px;">1月27日(土) 28日(日) 大人も子どもも いきものぬいでお絵描く 岩絵の具体体験ワークショップ</p> <p style="font-size: 8px;">講師 ねむろのこ ねむろのこ 会場 3,000円 2,000円 1,500円 会場 AIR Hiroshima Gallery 日時 1月27日(土) 13:00-16:00 28日(日) 13:00-16:00 定員 10名程度、定員超過の場合は抽選となります。 ※お申し込みは、お申し込みフォームからお願いいたします。 親子での参加も大歓迎です！</p> <p style="font-size: 8px;">お申し込み先 TEL 083-821-1111 airhiroshima.jp</p> <p style="font-size: 8px;">お申し込みフォーム airhiroshima.jp</p> </div> </div>	

2024年度いちだい地域共創プロジェクト【採択件数9件】

	プロジェクト名	課題提案地域団体	代表教員
新規	1 地域の魅力再発見 ～広島を紙芝居に～	ワンチーム・れきし紙芝居	芸術学部 教授 笠原 浩
	2 ドメスティック・バイオレンス (DV) 被害者の安心を取り戻すために	(一般社団法人) Domestic Violence and Child Abuse Center HIROSHIMA	情報科学研究科 助教 高橋 雄三
	3 戸山プロジェクト	戸山まちづくり委員会定住促 進部会	社会連携センター 特任講師 三上 賢治
	4 デジタル技術による福王寺の 魅力発信プロジェクト	福王寺山魅力アップ市民プロ ジェクト実行委員会	情報科学研究科 講師 馬場 雅志
継続	1 【継続2年目】 広島湾岸トレイル構想事業 山歩きの魅力と効能の考察とPR ツールの制作	広島湾岸トレイル協議会	芸術学部 准教授 藤江 竜太郎
	2 【継続2年目】 熊野町つなぐプロジェクト	熊野町つなぐプロジェクト	社会連携センター 特任講師 三上 賢治
	3 【継続2年目】 だんばらのえんこうさん ～絵本を使った伝承活動～	段原おやじの会	芸術学部 講師 城井 文
	4 【継続3年目】 コロナ禍でも健康体操で交流したい。 もっともっと。 ～対面もオンラインもICTを活用し て交流～	比治山学区社会福祉協議会	情報科学研究科 准教授 岩根 典之
	5 【継続3年目】 アーティストのために整備した 「AIR Hiroshima Studio」と「AIR Hiroshima Gallery」の活用による地 域の文化・芸術の振興への寄与	横川エリアマネジメント連絡 協議会	国際学部 教授 石谷 治寛

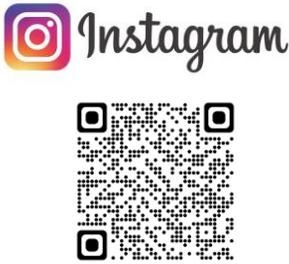
2024年度いちだい地域共創プロジェクト マッチングイベントの様子

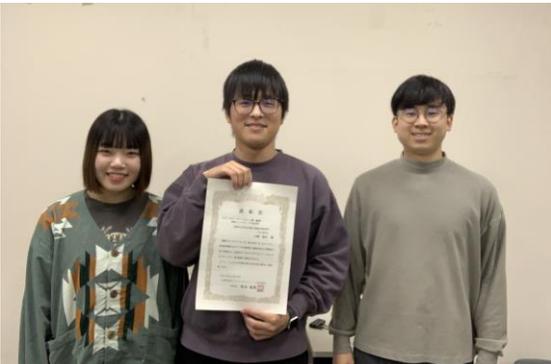
開催日：2023年11月2日（木）
開催場所：本学食堂（学生会館1階）

地域団体から地域課題のプレゼンテーションを受け
テーマ提案者と教職員・学生が交流を行います。
マッチングイベントは、毎年秋ごろを予定しており
ますので、次年度申請を検討されている地域団体
の方は、大学ホームページなどでご確認ください。



1	みんなのバス	
	学生代表	ジョン・テヨン（芸術学研究科博士前期1年）
	アドバイザー	芸術学部 教授 吉田 幸弘 芸術学部 准教授 中村 圭
メンバー	Jung TaeYong（芸術学研究科博士前期1年） Lee SeungHyeon（情報科学研究科博士前期2年） Jo Eun Bi（芸術学部2年） Lee Eon Yong（平和学研究科博士後期3年） 川端 万結子（芸術学研究科博士前期2年） 小林 実苗（芸術学研究科博士前期1年） 太原 穂香（国際学部4年）	
活動目的	バス停の位置および路線図を利用者の立場から考察し、調査・改善を通じてバスの利便性を向上させ、より豊かな生活環境に貢献する。	
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の広島バス利用に困難な点を、バス利用者や広電バス担当者へインタビューを行い、現状の課題を把握する ・分析結果をもとに改善場所を選定し、現場を調査・分析し、デザイン制作（案内表示など）を行う ・デザイン案を広電バスの担当者にプレゼンテーションし、フィードバックをもとにブラッシュアップする ・選定したバス停で一ヶ月間社会実験を行う ・実証実験の結果報告として展覧会を開く 	
活動写真		

2	大崎上島・豊島の方々と地元の素材で草木染め体験	
	学生代表	川口 春（芸術学部2年）
	アドバイザー	芸術学部 講師 今野 健太
メンバー	<p>【ユニット名：uksy（ウクシー）】</p> <p>川口 春（芸術学部2年） 山田 野の華（芸術学部2年） 園田 彩香（芸術学部2年） 宇根 慈（芸術学部2年）</p>	
活動目的	<p>施設で生活する子ども達に、普段経験することが難しい草木染体験を一緒に行い、「美術」を通じた交流を図り子ども達の思い出作りに貢献する。また、昨年度からの繋がりである大崎上島地区の方々と継続的な活動を行うことで新たな地域課題を探る。</p>	
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・染物イベント前に、現地での交流会を実施 ・地元ならではの染料素材を子ども達と一緒に探し、地元の自然について知る機会を設ける ・イベントを通じて「美術」の楽しさを伝え、子ども達にとって「美術」が新たな選択肢となるよう興味関心を広げる ・昨年度活動した大崎上島地区の方々との交流を大切にし、継続的な活動を行うことで新たな地域課題を探る機会をつくる ・教師を目指すメンバーもあり、子ども達との触れ合いを通じて美術講師としての指導経験を積む 	
活動写真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div>	

3	地域活性化のための情報格差をなくす掲示板アプリケーションの開発	
	学生代表	山崎 陽介 (情報科学研究科博士前期1年)
	アドバイザー	情報科学研究科 教授 弘中 哲夫
メンバー	山崎 陽介 (情報科学研究科修士1年) 梅田 創 (情報科学研究科修士1年) 山根 愛実 (情報科学研究科修士1年)	
活動目的	回覧板+αの機能を持ち、「簡単」に操作が可能な掲示板アプリ”CocBan” (コクバン) を開発することで、広島市が掲げている「地域コミュニティ活性化ビジョン」の推進を図る。	
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリの特徴として、非匿名性(名前のみ公開)のため、住民同士のオフラインの交流を活性化させることができる ・他のアプリと異なり、ユーザー登録も簡単でデジタル機器に不慣れな人でも使いやすい仕様とする ・セキュリティについては、コミュニティ外の方が誤って参加できないような仕組みづくりを行う ・Twitterなどとは異なり実名で登録するため、詐欺などの犯罪が起こりにくい ・各地域の自治会・町内会等への普及を目指す 	
活動写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p style="color: orange; font-weight: bold;">大学HP (受賞の様子)</p>  </div>	

4	耳の不自由な人や外国の人向けの紙芝居字幕システム	
	学生代表	リュウ・シャン（情報科学部4年）
	アドバイザー	情報科学研究科 助教 森 康真
メンバー	<p>【グループ名：チーム「T」】</p> <p>LIU XIANG（情報科学部4年） LUO YUGANG（情報科学部4年） 田中 瞬（情報科学部3年）</p>	
活動目的	<p>紙芝居は、日本特有の文化であり、身近で気軽なパフォーマンスである。これまで耳の不自由な人や外国の人への対応はあまり行われておらず、アドリブ等の字幕表示は難しいという課題がある。人工知能の技術を使って、日本語や外国語で字幕表示し、ユニバーサルデザインの紙芝居の実現に貢献する。</p>	
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま紙芝居村のメンバーにセリフを読んでもらい、サンプルとして、音声データと文字データを関連づけを行う ・ライブで演者が発する言葉を人工知能に認識させ、文字に変換して表示するシステムを作成 ・声の大きさや感情、話者の表現の違いによって、字の大きさ、字体、字色を変えるなどのことにも挑戦する ・多言語に翻訳により、外国の人にも紙芝居が分かるようにすることを目指す 	
活動写真		

いちだい地域共創プロジェクト	
1	カープ・ミュージアム設立プロジェクト
2	広島湾岸トレイル構想事業 山歩きの魅力と効能の考察とPRツールの制作
3	熊野町つなぐプロジェクト
4	竹原市の観光資源である「大久野島」の地域連携活性化事業
5	だんばらのえんこうさん
6	コロナ禍でも健康体操で交流したい。もっと。
7	アーティストのために整備した「AIR Hiroshima Studio」と「AIR Hiroshima Gallery」の活用による地域の文化・芸術の振興への寄与

市大生チャレンジ事業	
1	みんなのバス
2	大崎上島・豊島の方々と地元の素材で草木染め体験
3	地域活性化のための情報格差をなくす掲示板アプリケーションの開発
4	耳の不自由な人や外国の人向けの紙芝居字幕システム



いちだい地域共創プロジェクト



市大生チャレンジ事業



【お問い合わせ先】

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4-1
 広島市立大学社会連携センター 担当:勢良・山本
 TEL: 082-830-1764 FAX: 082-830-1555
 E-mail: office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp